

2021年1月4日

幼保連携型認定こども園 Y M C A 保育園 1 月えんだより

1 月の聖句 『 神は愛です。 』

<ヨハネの手紙I 第4章16節>

新年明けましておめでとうございます。本年もどうぞ宜しくお願いします。昨年の年始を思い返しますと、感染症は、まだ間遠の話でありましたが、近年の自然災害や気候の変動等も含め、経験したことの無い状況に遭遇し、日頃の安全への配慮だけではなく、たくさんの方々からのお知恵やご意見をお聴きし、多くの学びもあった一年でした。安心して過ごせる日が一日も早く訪れることを願い、傷ついた方々や疲弊した方々が癒えることを祈ります。

さて、子ども達が幼い日々の生活で「私は愛されている」と実感して身につけていくことは、今もこれからも、どんな状況においても生きる力の源になっていきます。災禍において、子ども達の心の不安やストレスは、大人の想像以上のものを抱えていたと推測します。自分は、愛されている存在であり、今、生命を与えられて暮していることの感謝の念を実感できれば、共に乗り越えていく力になっていきます。この「私は愛されている」ことを身につけることは、園の保育の目的の一つでもあり、乳幼児期の子ども達にはとても大切な要素であります。

神様の愛は、寛容、親切、人を妬まず、自慢せず、礼儀に反せず、利益を求めず... (第1コリント13章4-8節)と聖書には書かれていますが、完璧な理想の人を求めているのではありません、寧ろ、私たちが生きていく上で、他者の目に晒され、比較されることもあり、妬まれ、悲観を感じることもあります。着飾ることなく、ありのままの自分を、他者から条件をつけられることなく、認められる存在であり、世に生まれてきたこと、そのものが神様の愛であり、奇跡の賜物、宝物の存在であることの実感ができることでもあります。

自分の全ては、神様が与えてくださり、自分は生きる価値があり、世の為に生きる価値が一人一人に注がれていて、全ての人にあることを受け入れる時に、自分も隣人も同様に愛されている存在である、貴重な人であると受け入れることができます。日々の保育を通じて、神様は愛をもって、私たちに無条件で全てを受け入れてくださり、救いや慰めを与えてくださり、生き抜く力、知恵、勇気、優しさを与えてくださる源であり、そのままのあなたで良いこと、そして、未来に向けて、今を生活している子ども達と共に、心に記し、歩んでいきたいと願います。本年もご支援、ご協力の程を宜しくお願い申し上げます

年主題聖句 「喜びと平和とであなたがたを満たす」

<ローマの信徒への手紙 15章13節>

1 月	乳児 (0,1,2 歳児)	幼児 (3,4,5 歳児)
月主題	できたよ	取り組む
月の願い	<ul style="list-style-type: none"> * 手や指を十分に使って遊ぶ。 * 自分でできるという気持ちや、したいという意欲をもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> * 神さまが、与えてくださった賜物を互いにかして生活する。 * 健康に過ごすための生活習慣を身につける。 * 友だちと思いや考えを伝え合いながら遊びを深める。
讚美歌	きみがすきだつて こども改132	